

TCR1200-1G01 型  
□1.2m正方形コーナーリフレクタ  
取扱説明書

2006年10月



1. 構成品

TCR1200-1G01 型口1.2m 正方形コーナーリフレクタ（以下CR）の構成品は表1のとおりです。

表1 CR構成品一覧

No.	品名	数量	備考
1	パネルA	1個	重量 約16Kg
2	パネルB	1個	重量 約13Kg
3	パネルC	1個	重量 約12Kg
4	取付架台	1台	重量 約28Kg 角度調整部付
5	13×13 スパナ	2本	付属品収容ケースに収納
6	17×19 スパナ	2本	付属品収容ケースに収納
7	24×24 スパナ	2本	付属品収容ケースに収納
8	組立用ネジ	20式	M8×25 ボルト、ナット、平ワッシャ、スプリングワッシャ 付属品収容ケースに収納（数量は予備品も含む）
9	付属品収容ケース	1個	工具、組立用ネジ類収容箱

※上記以外に運搬用の木箱があります。CR 2式分収容 図1-1～2 参照



図1-1 パネル梱包箱



図1-2 取付架台梱包箱

## 2. 全体外観と作業手順

CRの完成状態と各部の名称を図2-1、2-2に示します。

CRは開口部を電波到来方向に向けて設置し、作業は以下手順で行います。

各作業の詳細は3項以降を参考にしてください。

- ① 取付架台の組立
- ② パネルAの取付架台への取付
- ③ パネルBの組立
- ④ パネルCの組立
- ⑤ 方位角・仰角の設定
- ⑥ 完成

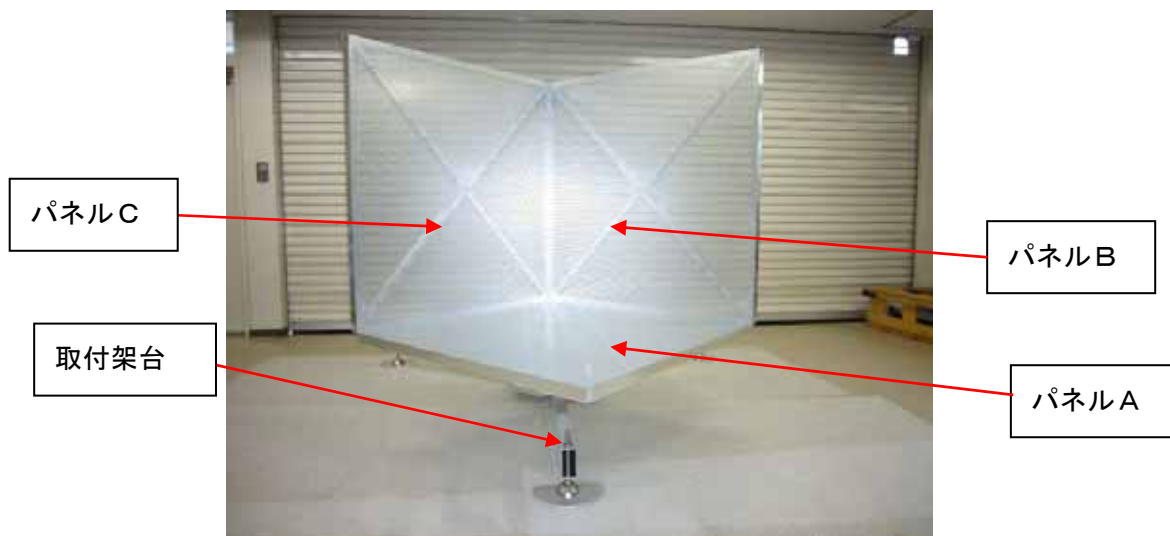


図2-1 CR全体（正面）



図2-2 CR全体（側面）

### 3. 組立方法

#### 3-1. 取付架台の組立

Aの足を展開するために、図3-1-1 赤丸部の6本のボルトを緩める。

図3-1-2の矢印2本のボルトは抜く。



図 3-1-2 取付架台詳細

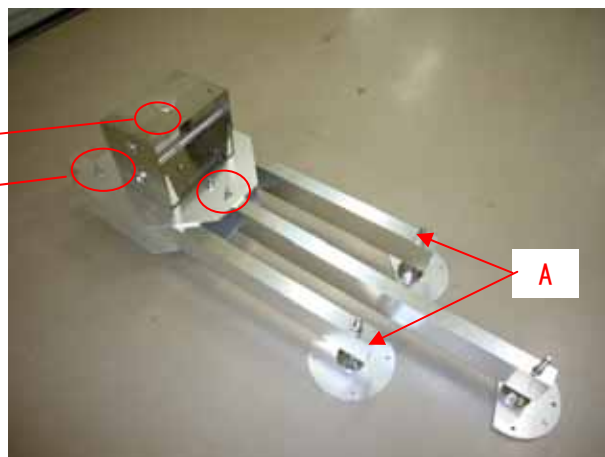
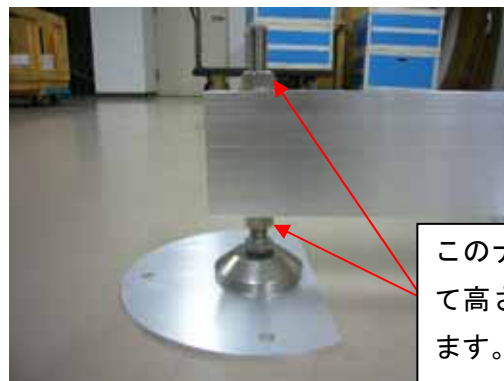


図 3-1-1 取付架台収納状態

Aの足を展開後ボルトを確実に差込、締めこむこと。



図 3-1-3 取付架台展開後



このナットを回して高さ調整が出来ます。(3箇所)

図 3-1-4 接地部詳細

取付架台の接地部（図3-1-3の赤丸部 3箇所）は、設置場所の地形により高さを調節することが出来ます。（図3-1-4参照）

**（コツ）** 取付架台はあらかじめ電波到来方向に向けておくと方位角の設定が楽になります。

（図3-1-5参照）



この脚を電波到来方向に向ける。

電波到来方向

図 3-1-5 方位角設定

### 3-2. パネルAの取付架台への取付

図 3-2-1 パネルAの裏面に仮止めされているボルト4本を取り外し、取付架台の丸い取付軸（図 3-2-2 参照）にパネルAの丸穴を合わせます。

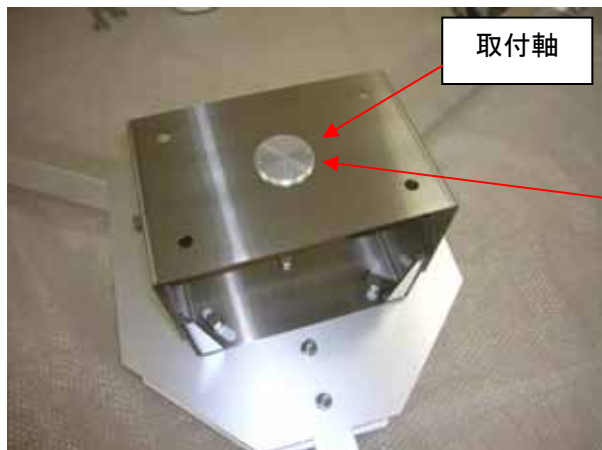


図 3-2-2 パネルA取付部（架台側）



図 3-2-1 パネルA取付部（パネル側）

図 3-2-3 のように合わせた後、取り外した4本のボルトを裏から締めます。（図 3-2-4～5 参照）



図 3-2-3 パネルA取付（全体）



図 3-2-5 パネルA取付（詳細）



図 3-2-4 パネルA取付（側面）

### 3-3. パネルBの組立

図 3-3-1 のようにパネルBをパネルAの上に取り付けます。

パネルの方向は表示が読める方向に取り付けます。

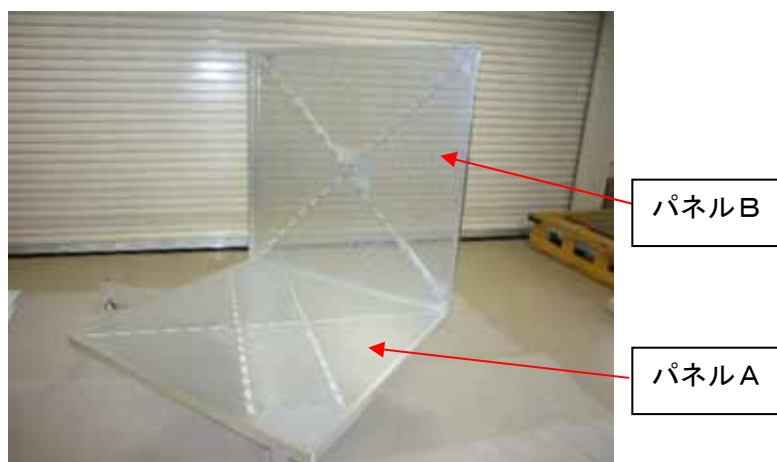


図 3-3-1 パネルB取付（全体）

パネルBは、図 3-3-2 の赤丸部にあるφ9mmの穴（8箇所）が合う位置に合わせ、そこに組立用ネジ（添付品）で固定します。このときネジは仮止め程度の締め付けにしてください。（図 3-3-2 参照）

この作業の際、**パネルBが倒れないようにパネルBを支えてください。また、ネジを仮止めした後も必ず作業者がパネルBを支えてください。**（ネジを仮止め後は1名でも支えは可能です。）



図 3-3-2 パネルB取付（側面）

**（コツ）** この作業は3名以上で行い、2名でパネルBを支えて、その他の人がネジの締め付けを行うと作業がやりやすくなります。

パネルBを仮止めしたら、取り付けたパネルBを1名程度で支えたまま、パネルCの取付作業を行います。

### 3-4. パネルCの組立

次に、図3-4-1のようにパネルCをパネルAの上に取り付けます。



図3-4-1 パネルC取付（全体）

パネルCは、図3-4-2の赤丸部にあるφ9mmの穴（計16箇所）が合う位置に合わせ、そこに組立用ネジ（添付品）で固定します。このときネジは仮止め程度の締め付けにしてください。（図3-4-2参照）

この作業の際、**パネルCが倒れないようにパネルCを支えてください。**

パネル3面を仮止めした後は支えが無くても自立しますが、**安全のため全てのネジを増し締めが完了するまでパネルを支えてください。**



図3-4-2 パネルC取付（側面）

**（コツ） この作業は3名以上で行い、2名でパネルCを支えて、その他の人がネジの締め付けを行うと作業がやりやすくなります。**

全てのパネルを仮止めしたら、仮止めした組立ネジの増し締めをします。

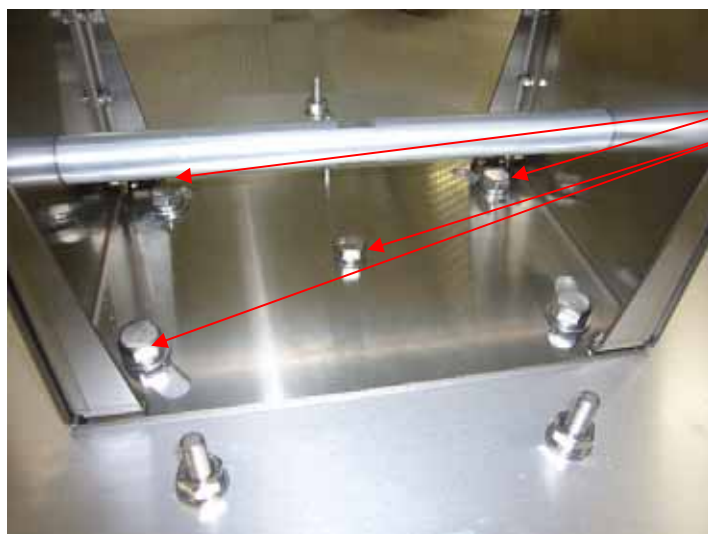
このとき、**安全のため全ての組立ネジを増し締めするまでパネルを支えてください。**

最後に、ガタが無いことを確認します。

### 3-5. 方位角・仰角の設定

CRは開口部を電波到来方向に向けて設置します。

方位角は、3-1項のように取付架台の脚をあらかじめ電波到来方向に向けておきます。また、取付架台の角度調整部を動かすことで、方位角の微調整ができます。(図3-5-1参照)



この5箇所のネジを緩めることにより、方位角の微調整ができます。  
(中央のネジは他とサイズが違うので注意)

図3-5-1 方位角微調整機構

仰角の設定は、取付架台の角度調整部を動かすことで行います。

角度調整部の側面のネジ4箇所を緩めます。緩め方は角度調整部の横棒をスパナで押さえながら側面のボルトを緩めます。(締めるときも同様です。)

このとき、**パネルの自重で下方向に動きますので、必ずこのネジを緩める際は、パネルを支えてから緩めてください。**(図3-5-2参照)



横棒をスパナで押さえながらこのネジを緩める。(対面とも) 締めるときも同様である。

図3-5-2 仰角調整機構

(コツ) この作業は3名以上で行い、2名でパネルを手で支えて、その他の人がネジを緩め、締める作業を行うと、作業がやりやすくなります。

以上が終了したら、CRのガタツキ・ネジの締め付け等を確認して、CRの完成となります。

#### 4. 分解方法

分解は組立と逆の手順で行い、収容箱に収納します。収納手順については6章を参照してください。

#### 5. 収納について

CRは収容箱（図 1-1~2 参照）に収納します。

収容箱は、パネル収容箱と取付架台収容箱と2種類あります。

パネル収容箱には、パネルA・B・C（同一製造番号のもの）を収容できます。

CRを保管・運搬する際は収容箱に入れてください。収容箱は重量物のため、運搬の際は必ず4名以上で行ってください。

各々の収容箱の収容状態での総重量は下記のとおりです。

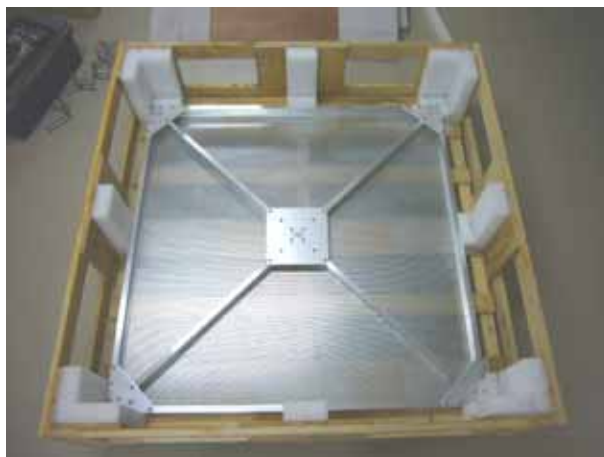
- ① パネル収容箱 約 100Kg
- ② 取付架台収容箱 約 73Kg

#### 5-1. 収納方法

##### ① パネルの収納

パネルの収納は各パネルの平らな面を下にしてパネルC、パネルB、パネルAの順番で重ねるように収納します。

手順は下記に準じて行ってください。

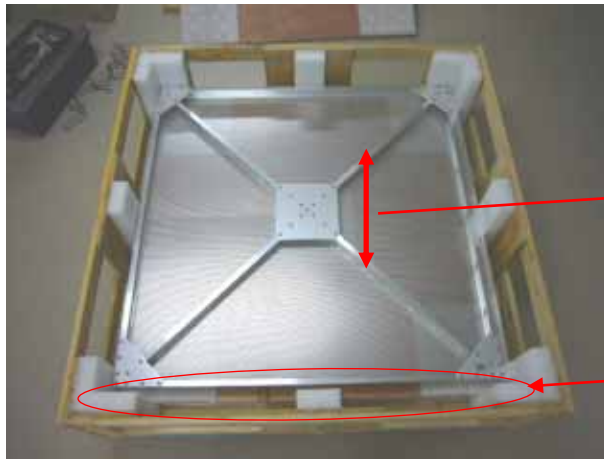


① パネルCを入れる。



② 仕切り板を入れる。

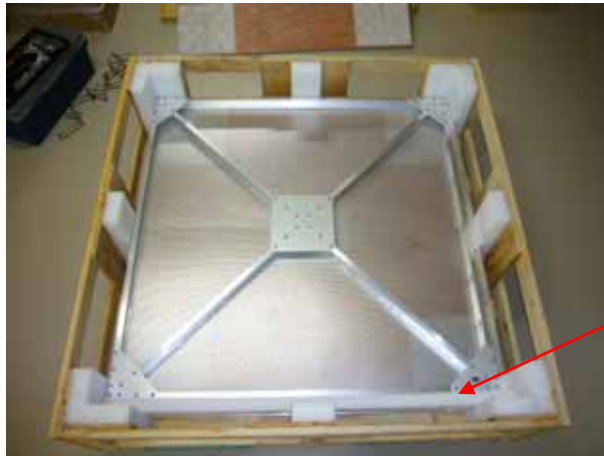
仕切り板



③パネルBを入れる。

パネルは右図の上下方向のどちらかに寄せ、隙間を空けること。

隙間

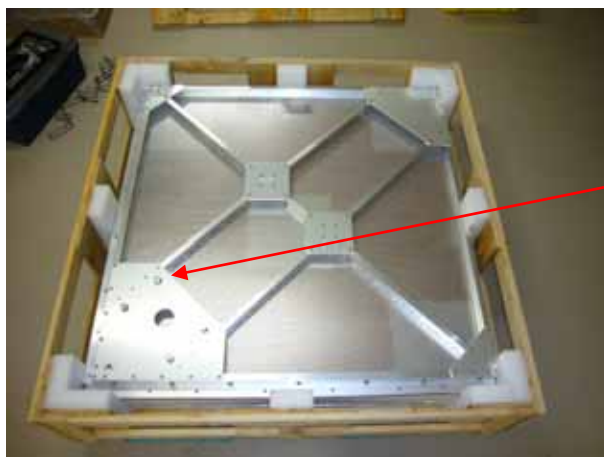


④隙間にスペーサを入れる。

スペーサ



⑤仕切り板を入れる。



⑥パネルAを入れる。

パネルAと取付架台を固定するネジはここにつけて収納します。(4箇所)



⑦蓋をする。



⑧クリップで蓋を固定する。(8箇所)

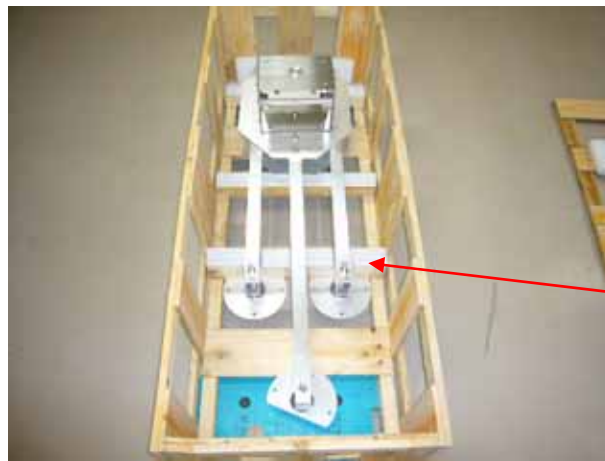
クリップ

## ②取付架台の収納

取付架台の収納は図 3-1-1 のように収納状態にしてから、収容箱に入れます。  
手順は下記に準じて行ってください。

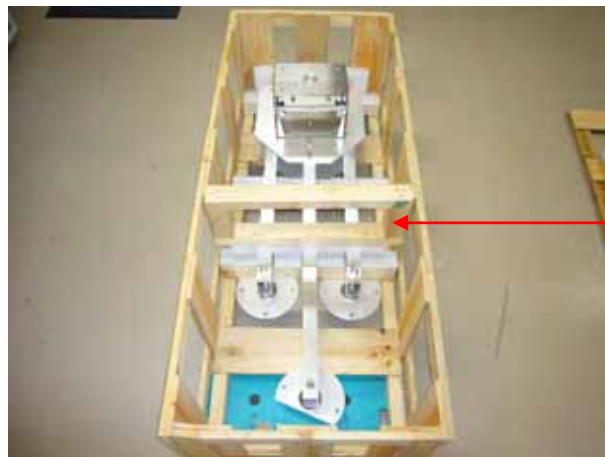


①取付架台を収納状態にする。



②取付架台を入れる。

ここの溝に脚を入れるように  
収納します。



③押さえを入れる。

押さえ



④蓋をして、クリンプで固定する。  
(6箇所)

## 6. 注意事項

- ①全ての作業を行う際は必ず**4名以上**で行い、**軍手等の手袋を着用**してください。
- ②このCRは、設置場所の地形・風等の天候など必要に応じて設置部にペグを打つことが可能です。  
ペグ用穴(φ12mm)は設置部に3ヶ所ずつ設けてあります。(ペグは添付していません)
- ③強風時は、パネル面積が大きいため**十分な注意**、または**作業を控える**ようお願いします。